

大学経営戦略セミナー 社会人大学院の未来

情報セキュリティ大学院大学  
www.iisec.ac.jp

主催：独立行政法人メディア教育開発センター

2004年11月

学校法人 岩崎学園 植田 威

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

岩崎学園が現在設置する機関

- 大学院大学
  - 情報セキュリティ大学院大学 (2003年11月27日 文科省認可 開学 2004年4月1日)
- 専門学校
  - 情報科学専門学校
  - 情報科学専門学校 新横浜校
  - 横浜デジタルアーツ専門学校
  - 横浜リハビリテーション専門学校
  - 横浜iカレッジ (1927年「横浜洋裁専門学校」として開学)
- 幼稚園
  - 岩崎学園附属幼稚園、岩崎学園附属瑞子幼稚園
- 附帯事業
  - 情報科学研究所
  - 岩崎学園生涯学習センター
  - 岩崎博物館(山手ゲート座記念)

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

岩崎学園の人材育成への取り組み

専門学校教育  
生涯学習  
地域社会の振興  
産業の活性化

専門学校での  
高度職業人育成

国策への参画  
再就職支援事業

岩崎学園の  
人材育成

地域の団体からの  
教育事業の受託

産業の活性化

国策への参画  
再就職支援事業  
県、産用・能力開発機構からの委託事業  
情報セキュリティ経営者(CISO)養成科  
Webアプリケーション開発科、Webエジ  
ニア科、パソコンユーザーサポート科、Web  
サイトエンジニア科、OA実務デュアルシス  
テム科、福祉住環境コーディネイト科  
年間500人の訓練生を受入  
(3ヶ月・6ヶ月コース)

岩崎学園の  
人材育成  
「IT技術者(情報通信、CG、セキュリティ)  
コンテンツ制作者、建築、ジュエリデザイン  
医療技術者(理学療法士、作業療法士)  
ファッションデザイナー、技術者、美容師

地域の団体からの  
教育事業の受託  
教育のアウトソーシング先としての受け皿  
(行政機関(県、市、関連機関)の職員研修  
経済産業団体の研修会  
高等教育機関、高等学校からの委託)

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティに取り組む背景

【情報セキュリティ人材の不足】  
総務省 情報通信ソフト懇談会  
人材育成ワーキンググループ  
情報セキュリティ人材12万人不足  
IT系人材約42万人不足

情報処理振興事業協会  
情報セキュリティビジネスに関する調査  
H13:2,953億  
H18:1兆6,135億  
3課題を提示:  
「技術」、「人材」、「制度」

経済産業省  
「情報セキュリティ総合戦略」

ネットワーク社会への  
対応

e-Japanの推進(住基ネット、LGWAN)  
安全な電子商取引技術  
(暗号化、認証技術、技術移転)

人育成

セキュリティマネジメントの  
必要性

リスクマネジメント、セキュリティ対策  
運用・監査

セキュアな  
プロダクトの開発

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学設立計画への取り組み

「情報セキュリティ」の分野への進出

情報セキュリティという最大級の課題

コンピュータサイエンスの急速な進歩  
インターネットに代表されるコンピュータネットワークの発展

9.11 世界貿易センタービルの崩壊  
世界のセキュリティに関する一変すると理事長が直感

大学院設置のこれまでのハードル・制約

工業等制限法

校地、教室などの制約が大きい

専門学校として学校教育法82条の中で大卒に負けない競争力のある人材育成の実績

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学設立計画への取り組み

大学院大学設立の機会の到来

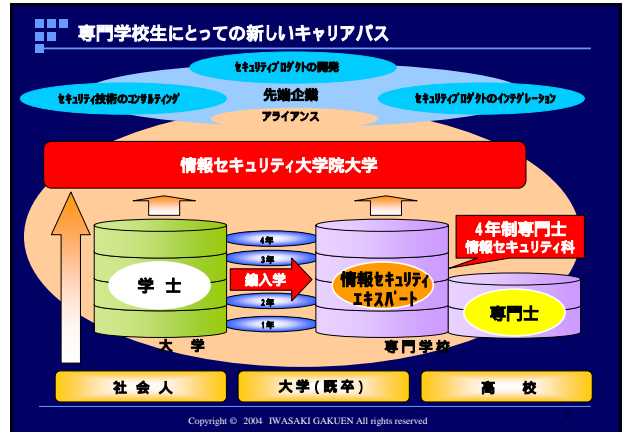
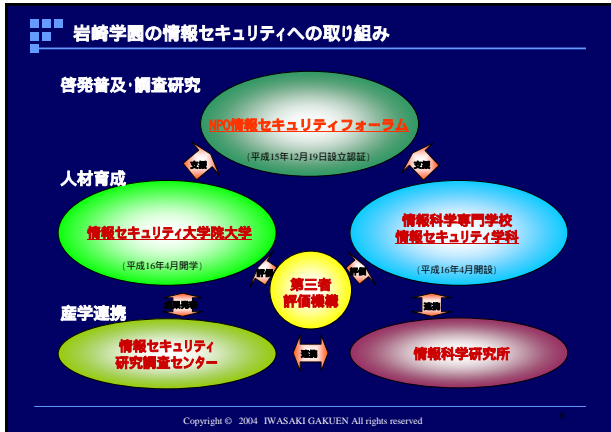
- 第1: 設置基準上の条件が緩和
- 第2: 情報分野で特化された専門的な技術や技術が必要な時代
- 第3: 上記の第1・第2のタイミングがうまく合致

大学院大学であることの必然性

情報セキュリティの対象となる分野の多様性と、その研究レベルとに鑑み、情報セキュリティの教育に必要な高度な専門的職業人育成機関には大学院(修士課程)が最適と判断し、独立大学院大学の設置計画を進めることとした

2002年8月 学園内に「情報セキュリティ大学院大学開設準備室」を設置

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved



### 情報セキュリティ大学院大学の概要

名称：**情報セキュリティ大学院大学**  
(2003年11月27日設置認可 2004年4月開学)

場所：**横浜市神奈川区鶴屋町二丁目14番地1**  
(横浜駅きた西口より徒歩1分)

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学の概要

構成

大学院大学：学部を置かない大学院のみを置く(大学)

研究科：情報セキュリティ研究科

専攻：情報セキュリティ専攻

課程：修士課程

学位：修士(情報学)

学生定員：1学年49名

標準修業年限：2年

取得単位数：30単位以上

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学の教授陣

産学連携を意識した教授陣  
 人文・社会科学諸分野に渡る学際的アプローチが必須

【招聘した教授陣：専任教員】

- 大学から情報セキュリティ技術の先端的研究者
- トップマネジメントの経験者
- IT系企業から情報セキュリティ分野のエンジニア
- 弁護士資格を持つ法律の専門家 計10名

専任教員の他、他大学から12人の兼任教員が就任  
 専任助手

産業界・公的機関・大学関係者等からの助言、候補者の研究論文

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学の教授陣

**学長 辻井重男**  
(東京工業大学名誉教授 前中央大学理工学部教授)

**副学長 林祐一郎**  
(前慶応義塾大学 メディア・コミュニケーション)

**研究科長 田中英彦**  
(前東京大学 情報理工学系研究科研究科長)

研究所 教授)

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学の設備概要

施設設備環境 - 校舎の使用概要構成 -

7階	図書室		学生ロビー		
6階	学長室	副学長室	研究科長室	会議室	講義室
5階	専	任	教	員	室
4階	院生室		院 生 室		
3階	演習室	演習室	講義室	講義室	
2階	実験実習室		講義室	ネットワーク教室	
1階	事務室		学 生 ロ ビ ー		

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学 育成する人材像

**育成人材像** (産業界を対象とした独自アンケート調査から2003年1~4月実施)

**情報セキュリティエンジニア**

セキュアなシステム・プログラムの開発、設計、構築ができる技術者

電子政府をはじめとするLOWAN、電子商取引、電子認証、ネットワークを利用した遠隔学習器、遠隔医療などに対応できる情報セキュリティに関する専門的な知識と技術面においてのコンサルティング能力を持つ、セキュリティ対策がなされたシステム、プログラムの開発、設計、構築ができる人材を育成。

**情報セキュリティマネージャ**

セキュリティに関する問題解決を志向する資質・能力を有する運用管理者

情報セキュリティ技術やシステム、プログラムについての知識を持ち、人間系の運用、管理面のセキュリティ対策などマネジメント能力を兼ね備え、企業内のリスク分析、評価を行い、セキュリティポリシーを企画、策定、運用管理し、情報セキュリティレベルを向上できる人材を育成。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学 授業時間帯

社会人が在職のまま就学できるように  
平日夜間や土曜日にも授業を設定

時限	月曜日～金曜日	土曜日
1時限	9:00 ~ 10:30	9:00 ~ 10:30
2時限	10:40 ~ 12:10	10:40 ~ 12:10
3時限	13:00 ~ 14:30	13:00 ~ 14:30
4時限	14:40 ~ 16:10	14:40 ~ 16:10
5時限	18:20 ~ 19:50	
6時限	20:00 ~ 21:30	

\* 前期・後期の二期制

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学 カリキュラムの特色

情報セキュリティに関する技術・知識は、IT関連の総合技術・知識の上に成立

- ・独立した分野では無い
- ・純粋科学分野(論理数学、電磁気学)から始まって、工学分野のコンピュータ、OS、ネットワーク、通信プロトコル、アクセス制御、運用技術、運用管理、組織論、法律、さらには心理学や人間そのものまで、関係する分野は多岐にわたり、これらの技術・知識体系を踏まえて、現実に合わせての運用や国内国外の法律知識も必要

授業科目に応じて教育効果を高める授業の方式を採用

事例研究、実習、輪講、複数教員による指導、演習  
産学連携の推進

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティの概念

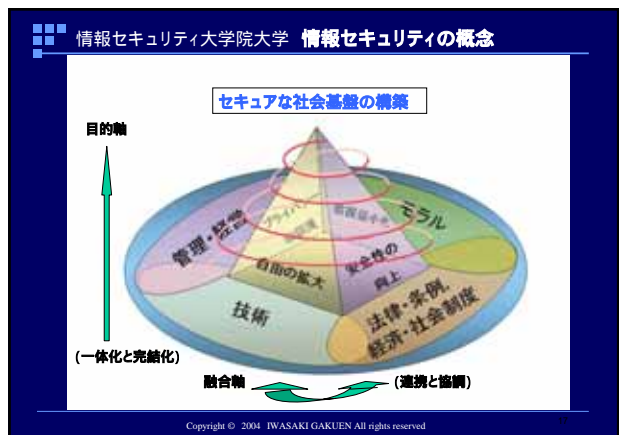
「情報技術によって拡大した自由を損なうことなく、

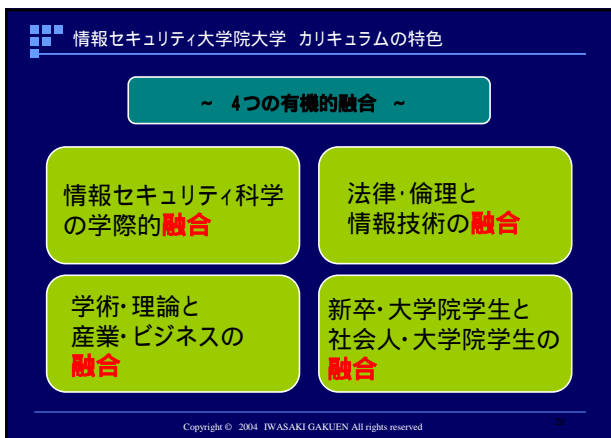
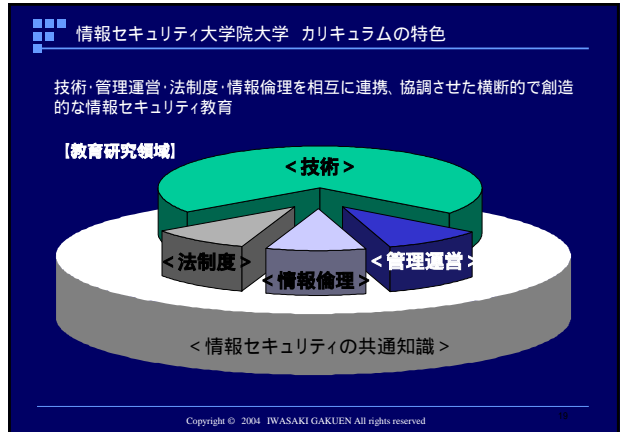
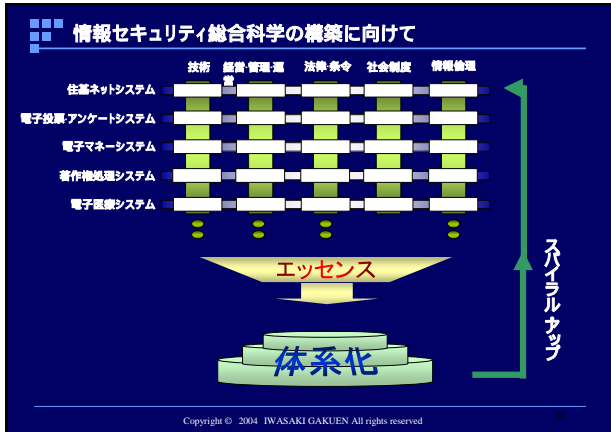
“**技術、管理運営手法、法律・社会制度、情報モラル**を相互に深く連携させ、協調させて、  
利便性、効率性と安全性の向上、**プライバシーの保護、および監視社会の最小化**を同時に達成することを目的とする、  
**一体性と完結性**を持つ**社会的基盤システム**を構築するためのダイナミックなプロセス”

である」

(辻井重男学長の定義)

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved





### 情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<共通>

**情報セキュリティ輪読**

情報セキュリティに関連する技術・運用管理方法・社会問題・法的問題・モラルなど、学生全員が各自テーマを決め、自らの力で調査研究を行い研究計画の立案・データの収集方法・効果的な発表について学ぶとともに、教員の学生とディスカッションを行うことにより意見交換を行い、様々な情報セキュリティ関連の知識を習得する。

**情報セキュリティ輪講**

情報セキュリティ輪講で学んだ内容を発展させ、高度な理論や技術とその運用管理、電子社会実現に伴う法的問題・モラルなど、情報セキュリティの研究に取り組む学生自身の興味関心領域において調査研究、意見交換を行うとともに、テーマ設定・研究計画の立案・データの収集方法・効果的な発表等における、他の学生への効果的な助言・指導の方法についても学ぶ。

**情報セキュリティ特論**

社会システムの電子化は時代の流れであるが、電子情報という見えないものを扱う社会的仕組みは、有体物に対するほど整備されていない。本授業では、特定の分野に固執することなく、情報セキュリティに必要な知識について、文献書と多量署名、電子投票に求められる機能と必要なエンティティ、代表的な電子投票実現方式、株主総会における議決権行使、電子透かし、無線LAN、米田真新技術動向など最新のトピックスを講義し、必要な知識をバランスよくカバーする。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<技術>

**情報デバイス技術**

コンピュータや通信を用いて様々な情報システムが構成される。その構成要素としての様々な機器の最新要素技術を学ぶ。最新要素技術としてプロセッサ技術、並列処理アーキテクチャ、ストレージ技術、IOデバイス技術、通信デバイス技術、ICカード、LSI技術、量子計算などについて学び、様々な情報システムを構成するための基礎となる知識を身につける。

**プログラミング**

コンピュータプログラム開発の実用的能力習得を目的とした講義を、演習を交えながら行う。まず、コンピュータプログラム開発の概略理解のための講義を行い、つぎにコンパイラ、テキストエディタ等のプログラミングツールの使用法の講義、演習を行う。さらにプログラム言語Cの文法とプログラム開発手順の総論的理解を目的とし、データ型、変数、配列、演算子、制御文、関数の宣言、定義、呼び出し等、プログラム言語Cの講義、演習を行う。

**数論基礎**

暗号理論を理解するのに必要な数学、特に整数論をコンパクトにまとめて講義する。まず、初等整数論を講義し、RSA暗号などの素因数分解問題に基づき暗号理論を理解するのに必要な数学的素養を習得させる。つぎに有限体上の線形代数およびガロア理論を講義し、エルガマル暗号などの有限体上の離散対数問題に基づき暗号理論やラピス問題に基づき暗号理論に必要な数学的素養を習得させる。さらに、有限体上の代数曲線論を講義し、楕円曲線暗号などの代数曲線上の離散対数問題に基づき暗号理論に必要な数学的素養を習得させる。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<技術>

**アルゴリズム基礎**

情報セキュリティ技術を実現するためのアルゴリズムの理解、特に、算術アルゴリズムの理解、習得を目的とした講義を行う。まず、アルゴリズム論と計算量理論の理解を目的として、データ構造と探索、ソートングアルゴリズムの講義を行う。つぎに情報セキュリティ技術の基礎となる、算術アルゴリズムの理解、習得を目的とし、多項式と多倍長整数の四則演算の基本的アルゴリズムの講義を行う。併せて量子アルゴリズムの概要についても解説する。

**計算代数**

情報セキュリティ技術を実現するために必要な、代数アルゴリズムの理解を目的とした講義を行う。まず、計算代数アルゴリズムの実装に必要不可欠である多項式と多倍長整数に対する乗算とユークリッドの互除法の高速アルゴリズムの講義を行う。つぎに計算代数アルゴリズムの基礎となる、LLLアルゴリズム等の線形代数のモダンなアルゴリズムの講義を行う。さらに、代数曲線暗号の構成や共通鍵暗号の評価等において重要な役割を演じる、可換代数アルゴリズムの講義を行う。

**セキュアシステム実習**

セキュリティ技術について、ルータ設定、OSインストールとセキュリティ、各種サーバの構築、ファイアウォール等の防衛システムの構築、VPNの構築、データベースのセキュリティなど実習を通して確認する。また、構築したシステムに対し各種セキュリティツールを使用した監査や脆弱性検査を行い、疑似不正侵入を試み、不正侵入などに対し実務レベルのセキュアシステム構築について考察する。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<技術>

**暗号理論と電子署名**

暗号の役割が秘匿と認証にあり、暗号方式に共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式があることを述べ、電子行政や電子ビジネス、あるいは電子医療などあらゆる電子社会システムの基礎が、人、文、声、目、金等に関するあらゆる情報の真正性を保証することにあることを説明し、真偽の識別という認証機能が主として公開鍵暗号によるデジタル署名によって行われることを説明し、具体的な暗号の利用例として、電子投票方式について解説する。

**セキュアプログラミングとセキュアOS**

機能や性能面で優れたプログラミングをしても、セキュリティ問題は生じても、本授業では、C/C++プログラミングにおけるセキュリティ確保、Javaプログラミングにおけるセキュリティ確保、Webサービスにおけるセキュリティ、ISO15408によるセキュリティ設計、セキュアOSなど、セキュリティの脆弱性を取り上げ、脆弱性をもたないようにするプログラミング方法について講義する。

**暗号プロトコル**

暗号、認証といった個々の技術を巧みに組み合わせることによって、一見不可能と思える要件を満たすプロトコルを実現することができる。本授業では、暗号プロトコル、マルチパーティプロトコルについて解説し、電子署名とその多量化の仕組み、閾値法とその実現方法、ゼロ知識対話証明の概念、ゼロ知識対話証明であることの証明(完全性、健全性、ゼロ知識性)、非対話ゼロ知識証明、電子投票が必要とされる様々な証明、耐貫取性実現のための特殊な証明方法などについて解説する。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<技術>

**不正アクセス技法**

サービス妨害 (DoS攻撃)、悪意行為 (事前調査(ポートスキャン、ソーシャルエンジニアリングなど)、権限取得(一般ユーザ権限取得、特権ユーザ権限取得)、不正実行 (Dロイの木馬、踏み台など)などの不正アクセス方法について解説し、ファイアウォールによる防御、IDSによる防御、サーバの要塞化、通信の暗号化、利用者認証、ログの管理などの不正アクセス対策方法について講義する。また、現在の不正アクセスの傾向を話し、今後現れると思われる不正アクセスについて考察する。

**セキュリティシステム監査**

システム監査、情報セキュリティ監査制度の基準、ガイドラインを理解し、監査の考え方及び監査の進め方を学び、次に侵入検査、RAS検査、OS/WASアプリケーション検査、ポリシー管理検査、ウイルス対策監査、管理有監査、セキュリティ監査ツールなど各種脆弱性の試験技術を習得する。最後に、自治体/企業の実ネットワークを対象としたケーススタディを通して監査スキルの獲得を図る。

**インターネットテクノロジー**

インターネットの様々な技術を探求するため、インターネットの基礎とプロトコル、通信制御技術、およびネットワーク設計、評価技術を習得する。プロトコルとしては現在使用されている代表的なプロトコル、およびIPv6をはじめとする次世代インターネットのプロトコルの理解を深める。次に、通信制御技術として、経路制御:OS制御、マルチキャスト等の先進技術を学び、さらに、待ち行列理論、情報統計理論を学習して、ネットワーク設計・評価の考え方を修得する。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<技術>

**オペレーティングシステム**

オペレーティングシステムの内部構成とその実装を学ぶことで、代表的なオペレーティングシステムとしてWindowsとUnixを中心にしてより深い理解と操作技術を習得させる。最初に、プロセス、メモリ管理、ファイルシステム、入出力についての詳細な技法を話し、次に分散、並列オペレーティングシステム、組み込みオペレーティングシステムの役割、目的と実現方法について話し。

**情報システム構成論**

様々な情報システムを構成するための基本手法を学ぶことで、システム要素、構成方式、データベース、SAW、WAN、高信頼構成、安全性設計などシステム構成の基本的な考え方を身につけるとともに、制御システム、バンキングシステム、倉庫管理システム、計算センター、ASP、企業内システム、公共システム、病院システム、Webサービスなどの中での具体的な幾つかのシステム事例を分析しその手法を学ぶ。

**セキュアシステム構成論**

情報システムを確実に稼働させ、安全なサービスを提供するためには、基本となる情報システム構成技術に加えて、さまざまな工夫が必要である。それは、下はベースとなるOSの構成法から、ミドルソフトウェア構成法、応用システム構成法、上はさまざまなUI/ハウ、適用する規則などにわたる。ここでは、その基本的な考え方を身につけるとともに、具体的な手法を用いた構成手法を話し、幾つかの事例を分析する。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<技術>

**ソフトウェア構成論**

ソフトウェアを構成する手法について学ぶ。ソフトウェア開発方法論、ソフトウェアのライフサイクル、ソフトウェア検証など工学的にソフトウェアを作成する手法であるソフトウェア工学について考察する。また、開発支援システム、並列システム、分散システム、エージェントシステムなどの代表的なシステム構成について考察する。

**ネットワークシステム設計・運用管理**

ネットワークシステム設計・運用管理

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

<管理運営>

**セキュリティ管理と経営**

経営者の視点でセキュリティ管理全般を概説し、インターネット・ビジネス時代の事業遂行にあたって経営者として必要な広義のセキュリティ関連知識を修得させる。まず企業の情報資産とそのセキュリティ管理が事業リスクに及ぼす影響について事例研究を行う。特に本授業では高度で戦略的な観点でのセキュリティ管理の展開を促し、経営者として、経営秘密の保護、知的財産戦略、e-ビジネスなど経営者が直面する今後の多角的なセキュリティ管理のあり方を取り上げ実践に役立つ応用力を培わせる。

**情報セキュリティマネジメントシステム**

情報セキュリティマネジメントシステムとは組織のマネジメントとして、自らのリスク評価により必要なセキュリティレベルを決め、プランを持ち、資源配分して、システムを運用することである。本授業では、情報セキュリティ管理システム(監査の導入)がセキュリティ(ポリシー)について、情報セキュリティ管理システム構築手順、情報セキュリティ管理システムの管理策、ISMS認証における考え方や情報セキュリティ管理体制を構築するために必要な考え方を解説する。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

< 情報倫理 >

**セキュア社会制度論**

(概要) 情報セキュリティを取り巻くさまざまな社会制度の現状と課題について講義する。 (リスク管理と保険) 情報及び情報システムを取り巻くリスクについて、分析、その手法、リスク管理及び保険制度と、企業における対応について解説する。 (知的財産制度) 特許や著作権に代表される「知的財産制度」について、デジタル化、グローバル化が及ぼした影響と、今後の動向について解説する。 (国際標準とガイドライン) 法的規格、及び品質、セキュリティ等の管理規格の増加、デファクト標準の重要性増大等、標準化の意義と課題について解説・議論する。

**プレゼンテーション技法**

セキュリティが問題になるような危機的状況では、事態の正確な理解と同時に、パブリック・リレーションズという観点からも、それを伝え、理解してもらうことが重要である。本授業では、多くのセキュリティ危機への対応において一つの重要な鍵となる、社内的・社外的プレゼンテーションの巧みに着目し、英語での表現技法も含んだプレゼンテーション技法の要点について講義を行う。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 カリキュラム

< 法制度 >

**セキュリティの法律実務**

セキュリティ関連法令および現行ガイドラインについて実例を交えながら概要を解説するとともに、一般原則としてどのようなルールが抽出されるかを考察する。また、年々増大するコンピュータ関連犯罪について、事例研究を通じ、犯罪者の特性・犯罪手口・防御対策の欠点などを分析・修得することによって、初期対応や恒久的対策を学ぶ。

**個人識別と個人情報保護**

個人識別に関するアルゴリズムを学び個人認証システムなど実際の社会システムへの展開と各方式の特徴及び課題を理解させる。また今後本格的に普及しサイバー社会のインフラとして重要な認証システムとなるバイオメトリクス認証について基礎技術および実用化の動向を学ぶ。特に世界総人口の識別が可能で未来の個人識別と言われるDNA認証方式についてその研究状況を把握する。つぎに個人情報保護に関する基礎知識と諸法規の概要を学びこれを支援する情報セキュリティ技術について鳥瞰する。

**セキュア法制度と情報倫理**

(概要) 情報セキュリティを成立させるために欠くことのできない重要な社会的要件としての法制度と情報倫理について講義する。 (法制度) セキュリティ関連事故、名誉毀損、プライバシー侵害、著作権侵害への対応について、プロバイダ責任(制限)法施行との関連を踏まえながら、事例研究を通して考察する。 (情報倫理) 規制の最小化と秩序の維持にとって重要な、各人の倫理意識と、それを緩やかに制度化した業界別やコミュニティ別等の倫理綱領について、全体動向を概観するとともに、各国との比較を試みる。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 開設科目一覧

科目区分	授業科目名	履修区分
専門基礎 (8科目)	情報デバイス技術	選択(2)
	プログラミング	選択(2)
	インターネットテクノロジー	選択(2)
	アルゴリズム基礎	選択(2)
	数論基礎	選択(2)
	セキュア法制度と情報倫理	選択(2)
	セキュリティ管理と経営	選択(2)
	プレゼンテーション技法	選択(2)
	情報セキュリティ輪講	必修(2)

履修区分、の( )内の数値は単位数

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 開設科目一覧

科目区分	授業科目名	履修区分
専門 (13科目)	計算代数	選択(2)
	暗号理論と電子認証	選択(2)
	暗号プロトコル	選択(2)
	個人識別と個人情報保護	選択(1)
	情報システム構成論	選択(2)
	オペレーティングシステム	選択(2)
	セキュアシステム構成論	選択(2)
	セキュアシステム実習	選択(2)
	ソフトウェア構成論	選択(2)

履修区分、の( )内の数値は単位数

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 開設科目一覧

科目区分	授業科目名	履修区分
専門 (13科目)	セキュアプログラミングとセキュアOS	選択(2)
	不正アクセス技法	選択(2)
	ネットワークシステム設計・運用管理	選択(2)
	セキュリティシステム監査	選択(2)
	情報セキュリティマネジメントシステム	選択(2)
	セキュリティの法律実務	選択(2)
	セキュア社会制度論	選択(4)
	情報セキュリティ輪講	選択(2)
	情報セキュリティ特論	必修(2)

履修区分、の( )内の数値は単位数

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

情報セキュリティ大学院大学 開設科目一覧

科目区分	授業科目名	履修区分
研究指導	研究指導	必修(6)

履修区分、の( )内の数値は単位数

**修了要件**

(1) 修業年限 : 2年以上  
(ただし教授会が覆れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする)

(2) 所要単位数: 合計30単位以上  
(専門基礎科目8単位以上+専門科目16単位以上+研究指導6単位以上)

(3) 修士論文等: 修士論文または教授会において適当と認められた課題研究

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved



### 情報セキュリティ大学院大学 履修モデル1

#### 情報セキュリティエンジニア 養成履修モデル

科目区分	モデル履修プラン	
専門基礎	情報デバイス技術	インターネットテクノロジー
	数論基礎	情報セキュリティ論
専門	計算代数	暗号理論と電子認証
	暗号プロトコル	ソフトウェア構成論
	セキュアプログラミングとセキュアOS	ネットワークシステム設計・運用管理
	情報セキュリティ論	情報セキュリティ特論
研究指導	研究指導	

情報セキュリティを専門とするエンジニアとして活躍を目指す方向への履修モデル。社会人であれば、官公庁や企業などの情報システム部門でシステム構築に従事している方、情報セキュリティの問題について改革意識のある方向きの履修モデル。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学 履修モデル2

#### 情報セキュリティマネージャ 養成履修モデル

科目区分	モデル履修プラン	
専門基礎	セキュア法制度と情報倫理	セキュリティ管理と経営
	プレゼンテーション技法	情報セキュリティ論
専門	不正アクセス技法	ネットワークシステム設計・運用管理
	セキュリティシステム監査	情報セキュリティマネジメントシステム
	セキュリティの法律実務	セキュア社会制度論
	情報セキュリティ特論	
研究指導	研究指導	

システムの運用に関してアドミニストレータの立場から設計をしようという方向への履修モデル。社会人であれば、官公庁・企業などで組織のマネジメントに従事している方、または志している方、情報セキュリティについての問題意識を持つ方向きの履修モデル。

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 情報セキュリティ大学院大学 入学者選抜 & 学費 (予定)

#### 入学者選抜概要

入学後に研究を行う上で必要な基本的能力・学力と意欲を重視して選抜を実施する。また情報セキュリティという厚生後開き教育研究の発展を促すために、多様なバックグラウンドを持つ学生が、お互いに刺激を与え合うことを非常に大切にすることと従い、情報セキュリティに興味・関心を持つさまざまな領域からの社会人を積極的に受け入れる。

入試区分	選抜方法	定員
一般入試	筆記試験、口述試験	49人
社会人特別選抜	研究計画書(4,000字程度)、口述試験	

#### 学費

入学金	300,000円
授業料(年額)	1,000,000円
施設設備費(年額)	150,000円
実習費(年額)	50,000円

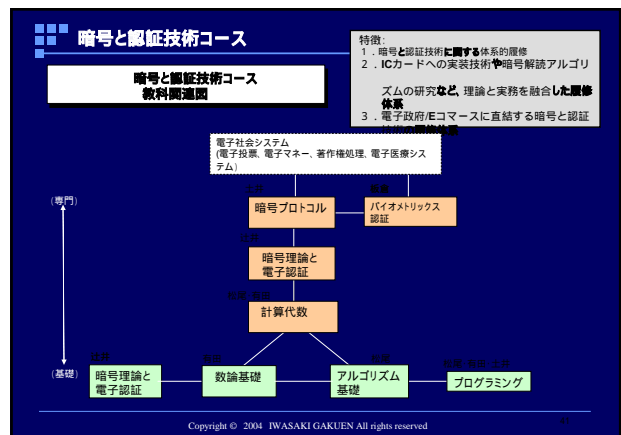
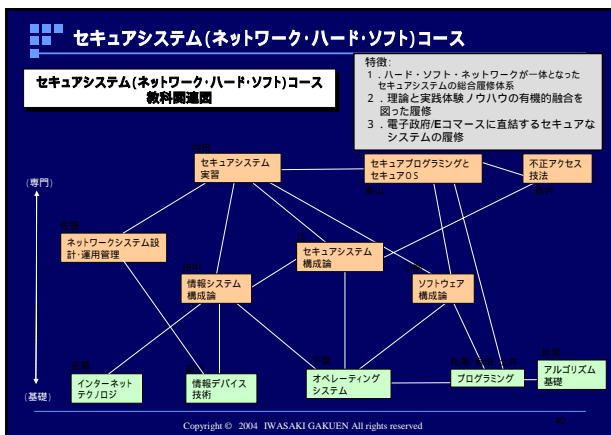
Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

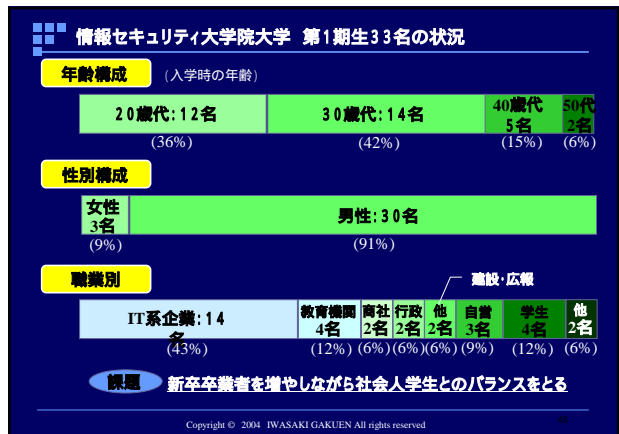
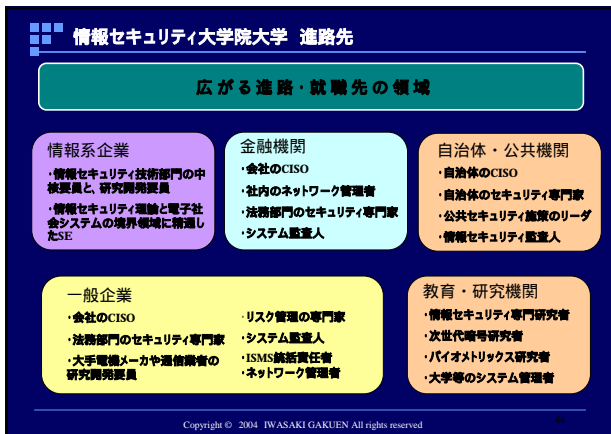
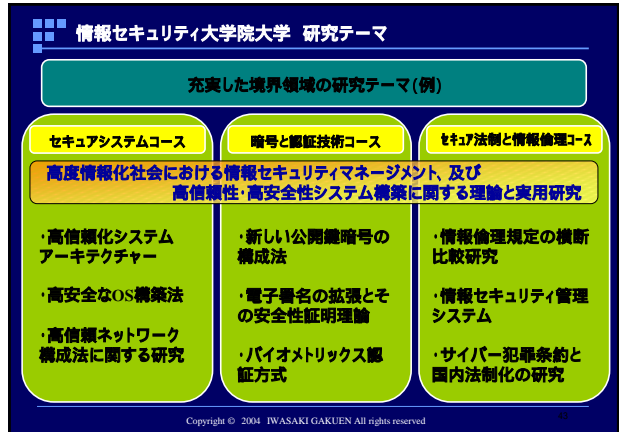
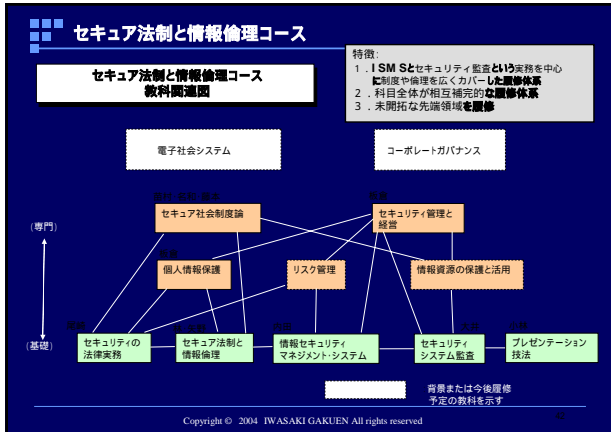
### 情報セキュリティ大学院大学 専門コース構成

#### 高度な情報セキュリティ・マネージャと情報セキュリティ・エンジニアを目指す3つの専門コース

- ・セキュアシステム(ネットワーク・ハード・ソフト)コース
- ・暗号と認証技術コース
- ・セキュア法制と情報倫理コース

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved





- ### 関連機関との連携
- 行政機関との連携
    - 県内の行政機関との情報交換を実施
    - 職員研修会の運営、職員の派遣(学生、科目等履修生)
    - 県警との連携事業
  - 産業界との連携
    - 第三者評価委員会
    - 「u-Kanagawa推進協議会」: ITを用いた地域産業の活性化、地域情報化事業
    - 「かながわ産学公連携職業人教育推進連絡会議」: インターンシップ(産業振興、地域振興、共同研究)を通しての産学公による人材育成事業
    - 産業振興事業関係の実行委員会へ参画  
ex. 学生ベンチャーフォーラム、かながわビジネスオーディション
  - NPO団体との連携
    - 「NPO情報セキュリティフォーラム」の設置
    - 情報セキュリティについての調査、研究、啓発普及
- Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

### 「NPO情報セキュリティフォーラム」の設立

**目的**  
 一般市民・企業・団体・教育機関等に対して、情報セキュリティの啓発普及・教育・調査・研究開発等に関する事業を行い、高度情報社会の発展と科学技術の振興を図り、広く公益に寄与することを目的とする。

**事業**  
 ・情報セキュリティに関する啓発普及事業  
 ・情報セキュリティに関する調査・研究開発事業  
 ・情報セキュリティに関する教育事業  
 ・情報セキュリティに関する教育プログラム開発事業  
 ・情報セキュリティに関する相談・支援事業  
 ・情報セキュリティに関する書籍等の出版事業

**設立総会**  
 2003年9月3日 設立総会実施  
 発起人代表 岡崎洋、岩崎幸雄  
 2003年12月19日 設立認可

URL <http://www.lsef.or.jp/>

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved



「NPO情報セキュリティフォーラム」の設立計画

役員

理事長	岡崎 洋	(財団法人 地球・人間環境フォーラム 理事長)
常務理事	岩崎 幸雄	(学校法人 岩崎学園 理事長)
理事	飯田 亮	(セコム株式会社 取締役最高顧問)
理事	井上 友二	(日本電信電話株式会社 取締役)
理事	金澤 薫	(財団法人 日本データ通信協会 理事長)
理事	上條 茉莉子	(特定非営利活動法人 コベルNPO 代表)
理事	児玉 幸治	(財団法人 日本情報処理開発協会 会長)
理事	田中 英彦	(情報セキュリティ大学院大学 研究科長)
理事	平澤 貞昭	(株式会社 横浜銀行 代表取締役頭取)
理事	堀部 政男	(中央大学 法学部 教授)
理事	村上 正一	(科学技術振興機構 プリュッセル事務所長)
事務局長	植田 威	(学校法人 岩崎学園 経営企画部長)
監事	奥津 勉	(中央青山監査法人 代表社員)
監事	橋本 認治	(学校法人 岩崎学園 総務部長)

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

40

(付)情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)の認証取得



取得の目的

- ・高品質な教育環境の確保
- ・教職員の意欲、モラルの高揚
- ・信用の確保

適用範囲

- ・学園教育ネットワーク
- ・デジタルコンテンツ
- ・人材育成事業

認証取得日

2003年12月10日

推進体制

ISMS推進プロジェクト  
事務局

効果

学園内環境、他機関からの支援依頼

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

41

氏名: 植田威 (うえだ たけし)

所属: 学校法人 岩崎学園

役職: 理事 経営企画部長  
(NPO情報セキュリティフォーラム 理事・事務局長)

住所: 横浜市神奈川区鶴屋町2-17 相鉄岩崎学園ビル(〒221-0835)

TEL 045-311-5562 FAX 045-311-8109

Mail ueda@iwasaki.ac.jp

Copyright © 2004 IWASAKI GAKUEN All rights reserved

42